

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	もものき		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 7日		~ 2025年 3月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年 2月 7日		~ 2025年 3月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 28日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・スタッフ全員が専門職であること。	・一人の利用者に対して、看護師、保育士、心理士、作業療法士、理学療法士がそれぞれに関りアセスメントしたものを共有することで、多角的な評価が出来る。 →より質の高い支援につながる。	・共有するだけでなく、定期的に皆と一緒にカンファレンスする機会を設けられると、より具体的な支援につなげられる。
2	・利用者・保護者と良い関係性を築けている。	・面談などの決められた時だけでなく、ご利用毎(送迎時)に話をしやすい雰囲気を作ることで、些細な事も何でも話してもらえるような環境を提供している。 ・利用者(子ども)に関する悩みだけでなく、保護者、その他の家族など社会的背景をふまえて日頃から相談にのっている。	・決まったスタッフが保護者と話しをするのではなく、どのスタッフとも保護者がお話できる様、コミュニケーションスキルの向上を目指す。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・研修の機会が少ない	・スタッフの個々の能力に頼っている部分が多い。	・勤務時間やカンファレンスの時間を考慮し、定期的な学習の機会を設けていく。
2			
3			